

配点: 各 10 点

① AD//BC の台形 ABCD があります。
 AB=2、BC=BD=1+√5、∠DBC = 30° です。
 ∠A > 90° のとき、∠ABD の大きさは何度ですか。

解答

△ABD を、AD を軸に対称移動して、B が移動した点を E とすると、
 BD=ED、∠BDE = 30° + 30° = 60°

より、△BDE は正三角形と分かります。

なので、

$$EB = BD = 1 + \sqrt{5}$$

ここで、△AEB に注目すると、

$$AE = AB = 2$$

から、

$$AE : EB = 2 : (1 + \sqrt{5}) = 1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$$

となり、△AEB は黄金三角形であることが分かります。

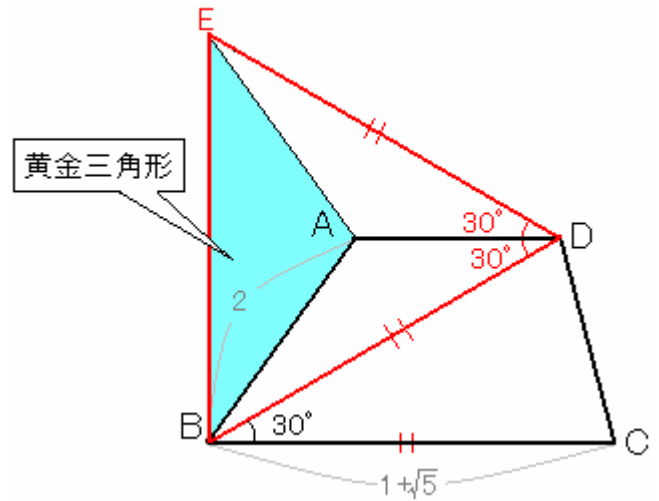
よって、

$$\angle EAB = 108^\circ$$

$$\angle ABE = (180^\circ - 108^\circ) \div 2 = 36^\circ$$

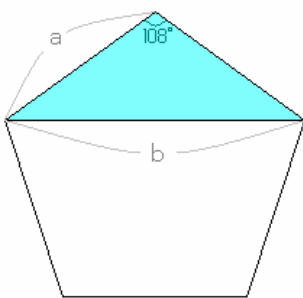
したがって、求める角度は、

$$\begin{aligned} \angle ABD &= \angle EBD - \angle EBA \\ &= 60^\circ - 36^\circ = 24^\circ \end{aligned}$$



答え: ∠ABD = 24°

参考 黄金三角形



黄金三角形とは、正五角形の対角線を引いたときにできる三角形のことで、左の図で、

$$a : b = 1 : \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$$

が成り立ちます。このとき、左図の青い三角形は、二等辺三角形になっていて、頂角は108°になります。

② 次の計算をなさい。

(1) $33858 \times 31174 - 33826 \times 31142 - 80000$

解答

$$\begin{aligned} & 33858 \times 31174 - 33826 \times 31142 - 80000 \\ &= (32516 + 1342)(32516 - 1342) - (32484 + 1342)(32484 - 1342) - 80000 \\ &= (32516^2 - 1342^2) - (32484^2 - 1342^2) - 80000 \\ &= 32516^2 - 1342^2 - 32484^2 + 1342^2 - 80000 \\ &= 32516^2 - 32484^2 - 80000 \\ &= (32516 + 32484)(32516 - 32484) - 80000 \\ &= 65000 \times 32 - 80000 \\ &= 2080000 - 80000 \\ &= 2000000 \end{aligned}$$

答え:2000000

(2) $3.456^3 + 30 \times 3.456 \times 6.544 + 6.544^3$

解答

$$\begin{aligned} & 3.456^3 + 30 \times 3.456 \times 6.544 + 6.544^3 \\ &= 3.456^3 + 3 \times 10 \times 3.456 \times 6.544 + 6.544^3 \\ &= 3.456^3 + 3 \times 3.456 \times 6.544 \times (3.456 + 6.544) + 6.544^3 \\ &= 3.456^3 + 3 \times 3.456^2 \times 6.544 + 3 \times 3.456 \times 6.544^2 + 6.544^3 \end{aligned}$$

ここで、 $3.456 = A$ 、 $6.544 = B$ とすると、

$$\begin{aligned} & A^3 + 3A^2B + 3AB^2 + B^3 \\ &= (A + B)^3 \\ &= (3.456 + 6.544)^3 \\ &= 10^3 \\ &= 1000 \end{aligned}$$

答え:1000

③ $[x]$ を、 x の整数部分とします。

たとえば、 $[3.14]=3$ 、 $[\frac{15}{7}]=2$ です。

このとき、方程式 $\frac{1}{4}[x]=x-[x]$ を解きなさい。

解答

$$\frac{1}{4}[x]=x-[x]$$

$$[x]=4x-4[x]$$

$$5[x]=4x$$

つまり、 $y=5[x]$ …①のグラフと $y=4x$ …②の交点の x 座標が、与えられた方程式の解となります。

①は、

$$0 \leq x < 1 \quad \text{で} \quad [x]=0 \quad \text{よって} \quad y=5[x]=0$$

$$1 \leq x < 2 \quad \text{で} \quad [x]=1 \quad \text{よって} \quad y=5[x]=5$$

$$2 \leq x < 3 \quad \text{で} \quad [x]=2 \quad \text{よって} \quad y=5[x]=10$$

$$3 \leq x < 4 \quad \text{で} \quad [x]=3 \quad \text{よって} \quad y=5[x]=15 \quad \dots$$

となっていくので、右図の赤い線の部分になります。

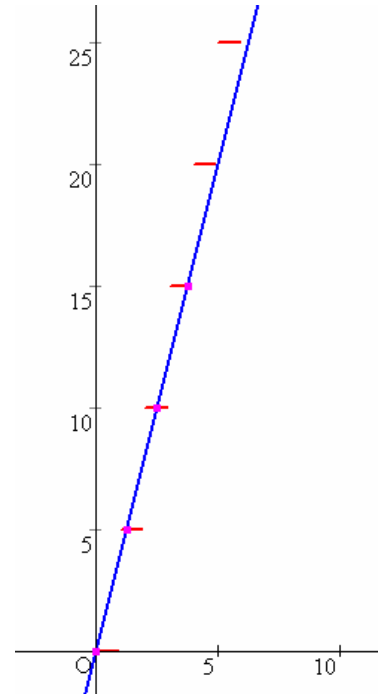
②は、右図の青い線です。

①と②のグラフの交点の x 座標は、

$$x=0, \frac{5}{4}, \frac{5}{2}, \frac{15}{4}$$

したがって、これが求める解です。

答え: $x=0, \frac{5}{4}, \frac{5}{2}, \frac{15}{4}$



注意! $x=5$ は解ではないことに注意してください。

①のグラフは $x=5$ のとき、 $y=5[5]=25$ より、 $(5,20)$ は通りません。

しかし、②のグラフは、 $x=5$ のとき、 $y=4 \cdot 5=20$ より、 $(5,20)$ を通ります。

なので、 $x=5$ は解ではないことが分かります。

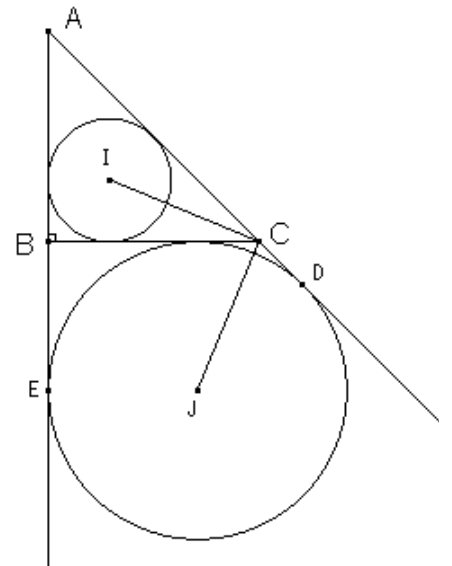
④ 右図で、 $\triangle ABC$ は、 $\angle ABC=90^\circ$ の直角二等辺三角形です。また、円 I は $\triangle ABC$ の内接円、円 J は $\triangle ABC$ の傍接円のひとつです。このとき、 $IC=JC$ を証明しなさい。

解説 $IC=JC$ を証明するには、 $\triangle ICJ$ が二等辺三角形であることを証明します。

解答

(証明)四角形 $BICJ$ において、
内心の性質と傍心の性質から、

$$\textcircled{1} \begin{cases} \angle IBC = \frac{1}{2} \angle ABC \\ \angle JBC = \frac{1}{2} \angle EBC \end{cases} \quad \textcircled{2} \begin{cases} \angle ICB = \frac{1}{2} \angle ACB \\ \angle JCB = \frac{1}{2} \angle DCB \end{cases}$$



①から、

$$\angle IBC + \angle JBC = \frac{1}{2}(\angle ABC + \angle EBC)$$

$$\angle IBJ = \frac{1}{2}\angle ABE = \frac{1}{2} \cdot 180^\circ = 90^\circ$$

②から、

$$\angle ICB + \angle JCB = \frac{1}{2}(\angle ACB + \angle DCB)$$

$$\angle ICJ = \frac{1}{2}\angle ACD = \frac{1}{2} \cdot 180^\circ = 90^\circ$$

だから、 $\angle IBJ + \angle ICJ = 90^\circ + 90^\circ = 180^\circ$ より、

四角形 BICJ の対角の和が 180° なので、これは円に内接する四角形である。

$\triangle ICJ$ において、

①から、 $\angle JBC = \frac{1}{2}\angle EBC = \frac{1}{2} \cdot 90^\circ = 45^\circ$ なので、

円周角の定理から、 $\angle JIC = \angle JBC = 45^\circ$

これと、 $\angle ICJ = 90^\circ$ から、

$$\angle IJC = 180^\circ - (45^\circ + 90^\circ) = 45^\circ = \angle JIC$$

よって、 $\triangle ICJ$ の2つの内角が等しいから、これは $IC=JC$ の二等辺三角形である。

よって題意は証明された。

(証明終)